



★
きかんし

ほくだい

北海道大学教職員組合機関紙

電話 011-746-0967(FAX 共通) / 内線 2083・3994

HP : <http://ha4.seikyou.ne.jp/home/kumiai/>

あけまして おめでとうございます。

— 働きやすく働きがいがある北大に！ —

新年あけましておめでとうございます。

委員長です。新しい執行委員会が発足してから早くも半年を迎えようとしています。

この間、執行委員会は非力な委員長をささえ、組合員の要求を掲げて奮闘し成果を上げることができました。

私が大切にしたいスローガンは、「働きやすく働きがいがある北大に」です。教員は日頃の研究教育の努力が正当に評価されることを望んでいると思います。職員は、超勤が多く過重な労働となっている方が多いのではないのでしょうか。北大では非正規雇用職員も増えており、見通しをもって働くためにも、また安定した大学運営のためにも正規雇用職員にすべきであると多くの皆さんが考えていると思います。こうした問題に目を向けた運営を実現するために、教職員の皆さんと話し合い、組合員と協力して活動していきたいと考えています。

昨年、大学側が提案してきた 55 歳昇給停止・抑制問題では、この立場で大学側と粘り強く交渉し、かたくなな「人勧準拠」の姿勢を変えさせることができました。書記長をはじめとする執行委員の論戦によるところが大変大きいです。成果としては、教員のみですが停止抑制年齢を 3 年遅らせ、199 万円減額から 132 万円減額の緩和となりました。これまでの組合運動の蓄積に負うところも大変大きいです。これまでの組合員のみなさんの努力に敬意を評します。

職員については緩和措置はありませんでしたので、退職後の嘱託職員の待遇改善をぜひ勝ち取りたいと思っています。

今年は、「年俸制」が本格的に導入され、働きやすく働きがいのある北大をめざす取り組みが大切になってくると思います。

みなさまのご協力をよろしくお願いします。

執行委員長 羽部 朝男

団交終わる

教員の昇給停止、58歳に改善！

職員の昇給停止年齢変わらず！

北大当局が提案してきた55歳昇給停止・抑制問題で、3回にわたり「団交」が行われ、12月4日に終了しました。教員の昇給停止年齢を当初の55歳から58歳に引き上げるという、近年では大きな成果といえる要求を実現することができました。残念ながら、職員の昇給停止年齢についての変更提案が示されませんでした。

どこまでも「人勸準拠」をかたくなに守ろうとする当局の姿勢は、基本的には変わっておらず、引き続く、要求実現に向けた運動と粘り強い交渉が必要ではないでしょうか。

今回の団体交渉では、「団交」初参加の方から参加者の声として感想をよせていただきましたので、以下に掲載いたします。



<参加者の声>

初めての団交

55歳昇給停止・抑制問題の第三回団交において、組合側の主張の一部が通りました。過去の団交において理路整然かつ毅然と主張し続けてくださった出席者の皆様に深く感謝申し上げます。ところで、この団交は道北の研究林に所属する私にとって初めて参加する団交でした。組合としての成果はさておき、初めての団交は自分にとって意外にも意味のある時間でした。私自身は何も発言できず、思い返すと恥ずかしいかぎりなのですが、他の参加者の皆さんの発言は「仲間を大切にすること」の思いが強く込められたものばかりで、とにかく私の心を打ち、勇気をもらいました。その夜、道北に向かう特急電車のなかでビール片手に昼間の団交を振り返り「組合って良いものなんだなあ」としみじみと感じました。また参加します！

(演習林班 岸田 治)

理事の言葉に怒り！

2013年11月22日、「55才昇給停止」第1回の団体交渉に初めて参加しました。

事務局長を前にずらりと並んだ人事課の面々を間近に見て「お、団体交渉だ。」と自分なりに緊張を、覚えました。

理事(事務局長)から口頭、「国家公務員の給与体系に合わせて北大も準じる。(人勸準拠)」との説明らしき話がありました。いろいろな考え方はありますが、誰でも給与・給料が減ることには憤りを覚え、まして幸せを感じる人はいません。私たちの給与水準は国家公務員より相当低いのは、事実です。

北海道大学のホームページに載せているように、「新たに獲得した自由」の中でぜひとも教職員の士気が上がる(不利益とならない)、話し合いが出来ればと期待したのですが次の日程に回されました。

改めて、国立大学法人北海道大学理事として教職員が不利益とならない誠意ある話し合いを期待します。

(理学部班 長倉 清剛)

医大懇に参加して

今回は、2013年11月30日（土）・12月1日（日）2日間、大阪大学医学部附属病院へ行きました。

17大学59名の参加でした。4つの分科会に分かれて、第2分科会「教職員の労働条件改善」に参加。7大学組合が参加し3大学教職員組合のレポートを発表。

昨年は徳島大学も非正規職員期限撤廃の情報を聞いておりましたが、今回は新潟大学職員組合が2013年4月1日付けで「8時間労働の非常勤職員が全員常勤職員」に切り替わったという情報を聞いて驚きました。それに比べ北海道大学は3年期限から最長5年まで実現をしましたが、常勤化になるまではまだ時間がかかるようで、常勤化するにはもう少し組合活動をしないと厳しいと思いました。私もあと2年しかありません。特に病院職員についてはベテランの人がいなくなると病院経営に悪影響を受けます。2014年4月には「診療報酬改定」もあります。他の大学からは北海道大学のレポートを見て「これはあまりにもひど過ぎる」という感想もでておりました。病院班は年明けに参加メンバーを集めてテーマを変えてアンケート調査を行う予定です。私の感想としては、「非常勤職員を早く常勤化にすること！」。

来年もまた医大懇に参加できたらいいと思いました。

（病院班 班書記長代行 真嶋 貴臣）



特定秘密保護法の成立と今後の課題

特定秘密保護法が12月6日、国会で可決された。この間、連日の反対デモ、マスコミの批判的報道、反対意見が8割を超えたパブリックコメントなどで、この法律が様々な問題点を内包する「悪法」であることが明らかにされたが、安部自民党は、何ら説明責任を果たすことなく、強行採決の挙にでた。

特定秘密保護法は、1980年代に廃案となった国家秘密保護法案の流れを汲むものだが、「秘密」の範囲は当時の法案より広く、しかもその具体的内容は政府が決定できることになっている。それじたい問題だが、この法律は、処罰類型についても「特定秘密の取得行為」のほか、独立教唆・扇動、共謀まで及んでおり、広範な処罰が可能になっている。国家の恣意的運用に対する歯止めは、ないに等しい。チェック機能を果たすべき第三者機関についても、安部首相の土壇場での場当たり的な発言があっただけで、ていねいな検討はなされていない。

重要なのは、特定秘密保護法が、国家安全保障基本法案、国家安全保障会議設置法案などとともに、憲法9条を骨抜きにし日本を戦争できる国家にするための法律であることだ。治安立法を次々と成立させ、武器禁輸三原則を放棄し、靖国神社に参拝する安部路線は、アジア諸国のみならず、今や「同盟国」アメリカからも警戒の目で見られている。日本の針路を戻すために、果たすべき課題は大きい。

（法学部班 白取祐司）



今期工学部班書記長を担当している深澤です。現在、福盛田さん、石川さんの3人が中心になり、工学部班で活動しています。

さて、工学部班は現在総勢24名の所帯で、そのうちお二人は最近新しく加入してくださった方です。一昔前と比べたら10分の一程度にまで減ってしまっているようですが、それでも新しく加入してくださる方が居るとするのは素直にうれしく、それだけで少し活気が出たように感じます。それもあってか、2013年12月4日には羽部執行委員長を招いて「55歳昇給停止問題」学習会、11日には新人歓迎昼食会を開催することができました。それ以外にも毎週世話役3人が集まって話をしています。学習会ではこの問題に関する理解が深まり、学習会・昼食会を通じてはお互いのつながりが深まった気がします。つくづく「まずは人と人がつながることが大事なんだな」と思われました。職場環境は、人と人ー非常勤職員の方、嘱託職員の方、事務職員の方、教員も関係なくーがつながってお互いを思いやりながら仕事をして行くことでよくなる、逆に言うとそれではしかよくなるのではないかと考えさせられました。まずは個人として、そして組合（員）としてその触媒の役割を果たしていけたらと思っています。

（工学部班 班書記長 深澤 達矢）



◆くみあい関連日程

- ・2014年1月20日（月）
前社保庁職員不当解雇撤回裁判
第9回口頭弁論
10：00～ 札幌地裁
- ・2014年1月22日（水）
JR北海道の安心安全を守るための集い
18：30～ エルプラザ
- ・2014年1月31日（金）
北大アイヌ人骨問題裁判、口頭弁論
14：00～ 札幌地裁
- ・2014年2月20日（木）
小池さん裁判判決言い渡し
13：10～ 札幌高裁
- ・2014年2月21日（金）
道教育大学長選考の裁判、判決言い
渡 13：10～ 札幌高裁

新春映画紹介～ 山田洋次監督作品

小さいうち

直木賞受賞作の待望の映画化！

ちいさなお家で起きた恋愛事件

昭和モダンの時代。どこか似ている平成の今・・・

「戦前から敗戦への時代を描きつつ、平成の今の日本がどこへ向かっていくのか見えてくる作品にしたい。」 山田洋次

出演：松 たか子 黒木 華 片岡孝太郎ほか

1月25日（土）からロードショー

札幌シネマフロンティア、ユナイテッドシネマ札幌など

